

十 沼田ユネスコ少年少女合唱団卒団式  
このほか、理事会四回、県ユ協理事・役員会などあります。

どの事業も役員皆さんと会員方々の協力があつて行われる事業です。年間を通じて事故がなく行われる事を願っています。

### 館林ユネスコ協会

館林ユネスコ協会のホームページについてお話ししたいと思います。当会のホームページは、素人作りのお粗末なものです。最初はやはり館林ユ協の情報発信をしようと、会のニュースもまめに更新し、会員の連絡ページなども作りました。しかし見る会員の方がほとんどおりませんでしたので、そのうち面倒になりました。そして私の関心も薄れ、ホームページも更新しないようになりました。現在は、日々の活動を発信するようなページは無く、ユネスコ活動の精神や館林ユ協の変わり映えのしない年間活動などを載せております。悪いホームページの代表格ですね。

ただあるだけのホームページ。されどホームページが役に立った出来事がありました。ある日、事務局である館林市役所生涯学習課に大量の「書き損じハガキ」が郵送されてきたのです。お手紙には、「ホームページを見て、貴会の書き損じハガキ回収運動のことを知りまして」とのことが書かれており、ホームページを見て、「ご協力くださったことが

分かりました。ホームページが役に立ちました？

改めまして、書き損じハガキ回収運動にご協力くださった多くの皆様、本当に感謝申し上げます。

このように拙い館林ユ協ホームページですが、どうぞ一度ご覧になってくださいませ。

### 安中碓氷ユネスコ協会

会長 矢野 薫

当ユ協では、一、毎年ユネスコ座談会。二、国際交流の集い。三、年間を通じてのユネスコ英会話教室。四、ユネスコスクールの普及活動をしています。

ユネスコ座談会では市内の六中学校からたくさんの生徒が参加しておこなわれました。テーマを「カンボジアの現状と子供たち」としてNPO法人カンボジアフレンド協会の理事長の方に講師をお願いいたしました。カンボジアの国内紛争によって起きてしまった悲惨な状況について、映像を見ながら、危険と隣り合わせの地雷処理の仕事についての説明があり、参加者全員が、世界平和の誓いを胸に座談会を終わりました。

国際交流の集いでは市内中高八校の生徒の参加があり、安中市在住の外国人とその友人の方々十六名で大会議室は満員になり盛況でした。テーブルごとの歓談から立食パーティーや挨拶ゲームなど参加者の皆さんとの一時間半の交流を楽しみました。いろいろな国の人々と交流す

ることで、お互いの文化の相違を理解し、心に平和な世界を築きつけかけになればと二十三年前から始めた事業です。英会話教室については、小中学生を中心に安中、松井田地区で五会場をつかい年間をとおして週二十八クラス、のべ二八〇人が学んでいます。現在はアメリカ人の三十才の女性講師です。今後とも尚一層のご支援をいただけますようお願い申し上げます。



### 藤岡地方ユネスコ協会

「ESDパスポート」の試行

会長 岸 正博

本年度、ユネスコスクール加盟校から三校が「ユネスコ協会ESDパスポート」の導入を決定した。市内全ての学校に周知するのは今後である。とりあえず、先導的試行として、ボランティア活動に実績のある中学校三校の校長判断により取組を進める。「ESDパスポート

ト」とは、「子供たちが地域の課題を解決するためのボランティア活動に参加することを促進し、大人と共に課題を主体的に捉え、解決のために自ら考え、行動する機会を提供」する。「学校と協働して持続可能な社会づくりの人材育成に取り組むもの」である。

ボランティア活動は、学習指導要領、「特別活動」に記述があり、積極的な取組が奨励されている。アルミ缶回収、地域の清掃活動、書き損じハガキ回収、災害支援のための募金等の活動、地域各種団体主催のエコキャップ収集、「子どもフェスティバル」など、各校の生徒会や部活動単位での活動、伝統文化や郷土芸能の継承・発展に参加、老人施設訪問ボランティア、また、「地域貢献隊」による一人暮らしのお年寄り世帯への支援活動等々、すでに長年にわたる活動実績を持つ。日本ユネスコ協会連盟は、ボランティア活動の定義として、「誰か・何か(社会課題)のために無償で自ら進んで人の役に立とうとする学校外での奉仕活動」としている。

東日本大震災から四年、東北発の震災教育が二十一世紀型教育のモデルとして注目を浴びている。「釜石の奇跡」に見られる震災時の小・中学生の行動は、多くのことを示唆する。ESDの実施上の観点として、①「人格の発達や自立心、判断力、責任感などの人間性を育むこと」②「他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、かわり、つながりを尊重できる個人を育む